



夏休みは家庭・地域で 子どもの教育力を高めよう

子どもたちにとって、待望の夏休みが始まります。
夏休みは家庭での教育を考える貴重な期間です。

インターネットに接続可能なパソコンや携帯電話の普及により、子どもたちは豊富な情報を簡単に入手することができま。しかし、中には有害な情報もあります。事件やトラブルに巻き込まれないために、パソコンや携帯電話の使用について、家庭内で子どもと話し合いましょ。

家庭でルールを決めよう

- ・早寝・早起き・朝ごはん
- ・夏休みは、子どもたちの気が緩み、生活が不規則になりがちです。門限や就寝時間を決めて生活リズムを整えましょ。
- ・子どもにも目覚まし時計で起きる習慣を身に付けさせましょ。
- ・1日の活力のため、きちんと朝ごはんを食べさせましょ。

早寝・早起き・朝ごはん

読み聞かせの習慣を

- ・利用目的、利用時間を決める。
- ・迷惑メールは削除する。
- ・困ったことが起きたら専門家に相談する。
- ・ルールを破ったら使わせない。

読み聞かせの習慣を

小学生を持つ保護者への調査によると、読み聞かせをする保護者は微増傾向にあることが分かりましたが、一方で、文字離れ、活字離れが進んでいます。

読み聞かせを通して親子交流を図るとともに、子どもの読書への関心につなげていきましょ。



あいさつはコミュニケーションのきっかけであり、相手の存在を認める重要なものです。あいさつの習慣は浸透していますが、さらにあいさつの輪を広げるため、家庭や地域であいさつや声かけに取り組みましょ。

また、子どもたちが川遊びなどで危険な遊びをしているときは注意しましょ。

地域一体となって声かけを

地区や校区活性化協議会、子ども会などでは、地域の特色を活かしたさまざまな行事を行っています。保護者が子どもと一緒に参加すると、子どもが社会の一員としての自覚を持ち、地域社会へ主体的に踏み出す機会になります。

子どもと一緒に地域行事に参加しましょ

気くばり、目くばり、声かけを！

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。

家庭で注意すること

- 子どもが遊びに行くときは、行き先、帰る時間を確認し、友だちの保護者と連絡をとり、協力して見守る。
- 子どもの姿が見えなくなったり、帰宅時間になっても帰ってこなかったりするときは、ためらわず警察に連絡する。
- 子どもが不審者に声をかけられたときは、すぐ警察や学校に連絡する。
- 「子どもが守ること」を日頃からよく話し合っておく。

PTA・子ども会など地域ぐるみで注意すること

- 公園、空き地、人通りの少ない路地などで、ひとりで遊んでいる子どもを見かけたら「ひと声」かける。
 - 地域の人が協力してパトロールや監視の目を強化する。
 - あやしい人を見かけたときは「ひと声」かけて確かめる。
- ※子どもたちを地域みんなで守る環境づくりに努めましょ。

